

横須賀市の児童・生徒の読書実態調査集計結果について

1. 調査の目的

平成 24 年度に策定した第 2 次横須賀市子ども読書活動推進計画の進捗状況を把握するため実態調査を実施しました。

2. 調査の概要

(1) 調査内容

平均読書冊数や読書についての意識、学校図書館利用の調査

小学生用調査票 (別紙 1)・中学生用調査票 (別紙 2) を各学校あて送付

(2) 調査対象

市立小学校の 4・5・6 年生の各学年の 1 組

市立中学校の各学年の 1 組

※平成 25 年度までは抽出校調査。平成 26 年度から全校調査

(3) 実施期間

平成 27 年 12 月 1 日～17 日

(4) 調査基準

平成 27 年 11 月の 1 ヶ月間

3. 調査集計結果

別添「横須賀市の児童・生徒の読書実態調査集計結果報告書」のとおり

4. 結果の公表及び報告

(1) 市ホームページ及び学校イントラネット上で公表します。

(2) 調査実施学校に、当該学校分の集計結果を提供します。

(3) 第 2 次横須賀市子ども読書活動推進計画の進捗管理を行う社会教育委員会議に、他の実施状況と併せて報告を行います。

横須賀市の児童・生徒の読書実態調査集計結果報告書

平成28年(2016年) 3 月

横須賀市教育委員会

1. 調査概要

(1) 調査目的

本市における子どもの読書の実態を調査し、第2次横須賀市子ども読書活動推進計画の進捗状況を把握するため。

(2) 調査対象

横須賀市立小学校の児童(4～6年生)・中学校の生徒(1～3年生)に対し調査を実施した。

全学校の対象学年の第1番目のクラスに対しアンケートを実施した。

区分	全対象数		抽出数			
	学校数	児童・生徒数	学校数	配布数	回答数	回収率
小学校	46校	10,042人	46校	4,201人	4,131人	98.3%
中学校	23校	10,390人	23校	2,306人	2,149人	93.2%
合計		20,432人		6,507人	6,280人	96.5%

※平成25年度までは抽出校調査。平成26年度から全校調査

(3) 実施方法

各学校に調査票を送付して依頼し、各学校単位で実施し、回収した。

(4) 実施期間

平成27年12月1日～17日

(5) 調査基準

平成27年11月の1ヶ月間

調査区	調査区長	調査区副長	校 長	
1区	1区長	1区副長	1区長	1区副長
2区	2区長	2区副長	2区長	2区副長
3区	3区長	3区副長	3区長	3区副長
4区	4区長	4区副長	4区長	4区副長

2. 調査結果の概要

【問1】11月の1か月の間に、本を何冊ぐらい読んだか。

- ・小学校の児童の平均読書冊数は、6.5(6.4)冊で、中学校の生徒の冊数は2.5(2.9)冊である。読んだ本の冊数は、小学校の児童は前回よりも0.1冊増え、中学校の生徒の冊数は前回よりも0.4冊減っている。
- ・本を1冊も読まなかった小学校の児童は10.2%(10.4%)、中学校の生徒は43.7%(39.0%)で、小学校の児童は前回よりも0.2%減り、中学校の生徒は前回よりも4.8%増えている。

※()内数字は、前回の調査の数値

読書冊数の全国との比較

区 分		今回調査値 (27年度)			前回調査値 (26年度)			基準値 (23年度)		
		本	マンガ	雑誌	本	マンガ	雑誌	本	マンガ	雑誌
小学生	横須賀	6.5	7.0	1.7	6.4	7.9	1.9	4.9	7.4	1.9
	全国	11.2		4.0	11.4		3.5	9.9		4.9
中学生	横須賀	2.5	7.5	1.6	2.9	8.5	1.7	2.9	10.9	2.3
	全国	4.0		2.1	3.9		2.3	3.7		3.3

単位 冊

月間読書冊数別の割合

区分	合計	0 冊	1～4冊	5冊以上	無回答	平均読書冊数
小学生	100.0	10.2	47.0	42.8	0.0(1名)	6.5冊
	(100.0)	(10.4)	(49.4)	(40.1)	(0.1)	(6.4冊)
中学生	100.0	43.8	42.7	13.5	0.0	2.5冊
	(100.0)	(39.0)	(46.8)	(13.9)	(0.3)	(2.9冊)

単位 %

1ヶ月の間に読んだ本の冊数が0冊だった児童・生徒の割合の全国との比較

区 分		今回調査値	前回調査値	基準値
		(H27年度)	(H26年度)	(H23年度)
小学生	横須賀	10.2	10.4	17.1
	全国	4.8	3.8	6.2
中学生	横須賀	43.8	39.0	35.9
	全国	13.4	15.0	16.2

単位 %

※ 全国数値は、全国学校図書館協議会と毎日新聞社が合同で毎年行っている調査で、第61回学校読書調査(平成27年調査)の数値

【問2】本を読むのが好きか。

・「とても好き」、「好き」の割合は、小学校の児童82.7%(81.8%)、中学校の生徒71.6%(75.9%)である。

※()内数字は、前回の調査の割合

区分	とても好き	好き	きらい	大きらい	無回答
小学生	30.3	52.4	13.4	3.6	0.3
	(30.2)	(51.6)	(13.8)	(4.1)	(0.3)
中学生	23.1	48.5	20.3	7.7	0.5
	(25.9)	(50.0)	(17.3)	(6.4)	(0.4)

単位 %

【問1】と【問2】に対するクロス集計

・本を読むことが好きかきらいかの別による読書冊数の比較

小学生

本を読むのが好きですか	合計	0 冊	1～4冊	5冊以上	無回答	平均読書冊数
とても好き	100.0	2.9	28.3	68.8	0.0	11.7冊
	(100.0)	(2.9)	(29.9)	(67.2)	(0.0)	(11.5冊)
好き	100.0	7.6	54.9	37.6	0.0	4.9冊
	(100.0)	(8.7)	(57.2)	(34.1)	(0.0)	(4.8冊)
きらい	100.0	25.8	60.6	13.5	0.0	1.9冊
	(100.0)	(21.3)	(65.0)	(13.7)	(0.0)	(2.4冊)
大きらい	100.0	53.7	38.3	8.1	0.0	1.5冊
	(100.0)	(47.4)	(34.2)	(18.4)	(0.0)	(2.3冊)

単位 %

中学生

本を読むのが好きですか	合計	0 冊	1～4冊	5冊以上	無回答	平均読書冊数
とても好き	100.0	13.5	47.8	38.7	0.0	5.9冊
	(100.0)	(13.8)	(49.3)	(36.4)	(0.5)	(6.4冊)
好き	100.0	39.2	52.4	8.4	0.0	1.8冊
	(100.0)	(36.4)	(54.8)	(8.6)	(0.2)	(2.1冊)
きらい	100.0	71.0	28.3	0.7	0.0	0.4冊
	(100.0)	(67.8)	(30.9)	(1.0)	(0.3)	(0.8冊)
大きらい	100.0	90.3	5.5	4.2	0.0	2.4冊
	(100.0)	(81.7)	(17.6)	(0.7)	(0.0)	(0.3冊)

単位 %

【問3】授業以外で学校図書館を利用したことがあるか

・「毎日利用する」、「ときどき利用する」の割合は、小学校の児童51.9%(51.8%)、中学校の生徒20.6%(22.0%)である。中学生は前回比率より減少している。

※()内数字は、前回の調査の割合

区分	毎日 利用する	ときどき 利用する	あまり 利用しない	利用した ことがない	無回答
小学生	3.5	48.4	41.1	6.4	0.6
	(2.4)	(49.4)	(40.9)	(6.9)	(0.4)
派遣校 以外	5.3	58.3	30.3	4.7	1.3
	2.8	44.8	45.1	7.0	0.3
中学生	1.8	18.8	42.0	37.3	0.1
	(1.7)	(20.3)	(42.8)	(34.9)	(0.3)

単位 %

3. 学校図書館コーディネーター派遣校の27年度の状況

区 分		横須賀	27年度コーディネーター 派遣校平均	27年度コーディネーター 派遣なし校平均	全国
小学校	読書冊数（本）	6.5	7.3	6.2	11.2
	読んだ本の冊数が0	10.2	7.0	11.5	4.8
	本を読むのが好き	82.7	86.4	81.6	
	学校図書館を利用する	51.9	63.6	47.6	

単位 %

4. 第2次横須賀市子ども読書活動推進計画の目標値との比較

指 標			単位	基準値 (H23年度)	前回値 (H26年度)	今回調査値 (H27年度)	目標 (H29年度)
1	1ヶ月間の 平均読書冊数	小学生	冊	4.9	6.4	6.5	6.4
		中学生	冊	2.9	2.9	2.5	3.8
2	1ヶ月間に本を 1冊も読まない 子どもの割合	小学生	%	17.1	10.4	10.2	12.4
		中学生	%	35.9	39.0	43.8	28.8

5. 調査結果の分析

- (1) 前年度に引き続き今年度も、市立小中学校全 69 校を調査しました。前年度比較においては大きな改善が見られませんが、小学校は第2次子ども読書推進計画の目標値に近づいており、取り組みの成果が少しずつ表れています。
- (2) 学校図書館コーディネーター(いわゆる学校司書)を派遣した、小学校の派遣校 12 校は、すべての調査結果について良い傾向が見られます。
- (3) 小学校では、特に「授業以外で学校図書館を活用する」児童の割合が、学校図書館コーディネーターを派遣している学校のほうが高く、学校図書館に人がいることの効果が高いことが分かります。
- (4) 中学校では、昨年度より更に状況が悪化しており、中学生の現状を踏まえた取り組みを検討する必要があります。

教育の未来は、人々の生活の質を高めること、社会の発展に貢献すること、そして、人々の心豊かな生活を実現することである。教育は、人々の未来を切り拓く鍵である。教育は、人々の未来を切り拓く鍵である。教育は、人々の未来を切り拓く鍵である。

教育の未来は、人々の生活の質を高めること、社会の発展に貢献すること、そして、人々の心豊かな生活を実現することである。教育は、人々の未来を切り拓く鍵である。教育は、人々の未来を切り拓く鍵である。

教育の未来は、人々の生活の質を高めること、社会の発展に貢献すること、そして、人々の心豊かな生活を実現することである。教育は、人々の未来を切り拓く鍵である。教育は、人々の未来を切り拓く鍵である。

教育の未来は、人々の生活の質を高めること、社会の発展に貢献すること、そして、人々の心豊かな生活を実現することである。教育は、人々の未来を切り拓く鍵である。教育は、人々の未来を切り拓く鍵である。

平成 27 年度横須賀市の児童・生徒の読書実態調査について

1. 目的

平成 24 年度に策定した「第 2 次横須賀市子ども読書活動推進計画」の進捗状況について把握するため、本市における子どもの読書の実態を調査します。

2. 調査内容

読書冊数（11 月の 1 か月の間に読んだ本・マンガ・雑誌の数）、読書についての意識及び学校図書館利用の調査

小学生用調査票（別紙 1）

中学生用調査票（別紙 2）

実施児童・生徒数について（別紙 3）

学校図書室について（別紙 4）

3. 調査対象

- ・市立小学校の 4・5・6 年生の各学年の 1 組
- ・市立中学校の各学年の 1 組

4. 提出方法

(1) 提出先

調査票等は、メールカーにより教育委員会事務局教育総務部総務課の棚を経由して、中央図書館にご送付ください。

(2) 提出期限

平成 27 年 12 月 17 日（木）

5. 調査票提出後の予定

(1) 集計作業

(2) 各校に全体の集計結果及び自校分の結果を送付

(3) 集計結果を市のホームページ及び学校イントラネット上に掲示

(4) 教育委員会定例会に集計結果報告

(5) 社会教育委員会議に第 2 次横須賀市子ども読書活動推進計画進捗状況として報告

6. その他

(1) 調査結果は、「第 2 次横須賀市子ども読書活動推進計画」の進行管理に使用し、他の目的に使用いたしません。

(2) 集計結果について公表の際は、学校名は公表いたしません。

小学生の読書についての調査

これから答えていただくのは、テストではありません。ですから、名前を書く必要はありません。学級や学校名を公表することはありません。

まず、あなたの学年を○でかこんでください。

学 年	4 年生	5 年生	6 年生
-----	------	------	------

【問1】 あなたは11月の1か月の間に、本を何冊ぐらい読みましたか。教科書・学習参考書（ドリル・問題集）の数は入れないでください。1冊も読まなかった人は0と書いてください。

答	本	冊
	マンガ	冊
	ざっし 雑誌	冊

【問2】 あなたは、本を読むのが好きですか。番号を1つだけ○でかこんでください。

答	1. とても好き
	2. 好き
	3. きらい
	4. 大嫌い

【問3】 あなたは、授業以外で学校図書館を利用したことがありますか。

答	1. 毎日利用する
	2. ときどき利用する
	3. あまり利用しない
	4. 利用したことがない

中学生の読書についての調査

これから答えていただくのは、テストではありません。ですから、名前を書く必要はありません。学級や学校名を発表することはありません。

まず、あなたの学年を○でかこんでください。

学 年	1 年生	2 年生	3 年生
-----	------	------	------

【問1】 あなたは11月の1か月の間に、本を何冊ぐらい読みましたか。教科書・学習参考書（ドリル・問題集）の数は入れないでください。1冊も読まなかった人は0と書いてください。

答	本	冊
	マンガ	冊
	雑誌	冊

【問2】 あなたは、本を読むのが好きですか。番号を1つだけ○でかこんでください。

答	1. とても好き
	2. 好き
	3. きらい
	4. 大きらい

【問3】 あなたは、授業以外で学校図書館を利用したことがありますか。

答	1. 毎日利用する
	2. ときどき利用する
	3. あまり利用しない
	4. 利用したことがない

「読書実態調査」の実施児童・生徒数について

調査に当たって、児童・生徒のアンケート回答割合を把握するため、実施対象クラスの児童・生徒数の在籍人数の報告をお願いいたします。

小学校は「1」に、中学校は「2」に記入をお願いいたします。

学校名 _____

記入者 _____

1. アンケート実施クラスの児童在籍数をお答えください。

4 学年 _____

5 学年 _____

6 学年 _____

2. アンケート実施クラスの生徒在籍数をお答えください。

1 学年 _____

2 学年 _____

3 学年 _____

名前

よくよく読んで、書いてください（お名前を記入）

よくよく読んで、書いてください（お名前を記入）
よくよく読んで、書いてください（お名前を記入）
よくよく読んで、書いてください（お名前を記入）

名前

名前

よくよく読んで、書いてください（お名前を記入）

名前

名前

名前

よくよく読んで、書いてください（お名前を記入）

名前

名前

名前

学校図書室について

学校名（ ）

本市における子どもの読書の実態を調査し、平成24年度に策定した「第2次横須賀市子ども読書活動推進計画」の取組を検証するための資料とします。

該当する番号を○で囲んでください。

質問項目	回 答
1. 学校図書館の開いている時間は、いつですか。 (児童・生徒に対して)	1. 常時開いている。 2. 一定時間開いている。(休み時間) 3. 一定時間開いている。(放課後)
2. 学校図書館の開いている時間は、誰が対応していますか。	1. 教師 2. 児童・生徒(図書委員など) 3. 学校図書館ボランティア
3. 学校図書館の利用指導は児童生徒に1年1度は行われていますか。	1. 全学年で行っている。 2. 行っている学年がある(年) 3. 行っていない。

ありがとうございました。

丁戸で二重書簡対談

（

）

多くを求めた結果は、結果として、多くの書簡が書かれたこと、（多くの書簡が書かれたこと、）
（多くの書簡が書かれたこと、）
（多くの書簡が書かれたこと、）

（多くの書簡が書かれたこと、）

書 名	著 者
（多くの書簡が書かれたこと、） （多くの書簡が書かれたこと、） （多くの書簡が書かれたこと、）	（多くの書簡が書かれたこと、） （多くの書簡が書かれたこと、） （多くの書簡が書かれたこと、）
（多くの書簡が書かれたこと、） （多くの書簡が書かれたこと、） （多くの書簡が書かれたこと、）	（多くの書簡が書かれたこと、） （多くの書簡が書かれたこと、） （多くの書簡が書かれたこと、）
（多くの書簡が書かれたこと、） （多くの書簡が書かれたこと、） （多くの書簡が書かれたこと、）	（多くの書簡が書かれたこと、） （多くの書簡が書かれたこと、） （多くの書簡が書かれたこと、）

（多くの書簡が書かれたこと、）

「読書についての調査」実施の手引き

調査に当たって、児童・生徒に対して、回答を暗示しないよう説明をお願いいたします。

（調査のすすめかた）

1. まず目的を説明してください。
「横須賀市の子どもが、読書をしているのか、調べるための調査です。調査の結果は、第2次横須賀市子ども読書活動推進計画の進捗状況を確認するために使用します。」
2. 続けて調査票の冒頭2行を読み上げてください。
「これから答えていただくのは、テストではありません。ですから、名前を書く必要はありません。学級や学校名を発表することはありません。」
3. 次に学年を○で囲むよう説明してください。
4. 終了を確認してから、【問1】を説明し、記入を確認してから【問2】に進んでください。以下同様に【問3】までお願いします。

（調査の実施にあたっての注意点等）

1. 【問1】で調査するのは、11月の1か月の間に読んだ本・マンガ・雑誌の数です。種別ごと設けた3つの欄に、それぞれの数を記入してください。
 - ① **本の欄**に記入するのは、一般の単行本（児童書・小説・ノンフィクション・実用書等）・文庫本・絵本・ムック等であることを説明してください。
学習マンガ（「マンガ××の歴史」「マンガ○○のひみつシリーズ」等）や図鑑についての判断を求められた場合は、「本」として含めてください。
電子書籍の本については、紙の本に準じます。マンガ・雑誌は含めないことを説明してください。冊数は、紙の本に換算して数えてください。
「ケータイ小説」のような紙の本が存在しない場合の冊数は、一つの物語が完結している分を1冊とみなして数えてください。
 - ② **マンガの欄**に記入するのは、マンガの単行本（コミック）・マンガの文庫本等を読んだ数です。マンガの週刊誌・月刊誌の数は、ここに入れないでください。

③雑誌の欄に記入するのは、週刊誌・月刊誌等を読んだ数です。マンガの週刊誌・月刊誌等の数はこちらに入れてください。

⑤回答欄毎の分類で1冊も読まなかった場合は、当てはまる欄に0と記入してください。

⑥通読はしないが読んだ本・マンガ・雑誌がある場合、それを1冊に数えるかどうかは、本人の感覚にまかせてください。数量的な基準を問われた場合は、概ね3分の2以上としてください。

2.【問2】で調査するのは、本を読むことが好きか、きらいかです。

①この設問で、調査の対象としている「本」とは、【問1】の「本の欄」で定義した「本」です。

②4つ選択肢がありますが、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

3.【問3】で調査するのは、学校図書館を利用する頻度についてです。

4つ選択肢がありますが、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。



北京清华大学出版社·北京·清华大学出版社

（北京清华大学出版社·北京·清华大学出版社）

清华大学出版社·北京·清华大学出版社
（北京清华大学出版社·北京·清华大学出版社）
清华大学出版社·北京·清华大学出版社



横須賀市の児童・生徒の読書実態調査報告書

平成 28 年 (2016 年) 3 月 発行

横須賀市立中央図書館
〒238-0017 横須賀市上町1-61
電話 046-822-2202